

第21期 決算公告

自 2022年7月1日

至 2023年6月30日

株式会社アイヴィジョン

貸借対照表

(2023年6月30日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	174,751	流動負債	120,598
現金及び預金	159,466	未払金	44,835
売掛金	593	未払費用	4,347
未収還付法人税等	10,619	契約負債	60,794
その他	4,071	預り金	10,620
固定資産	30,222	固定負債	1,773
有形固定資産	1,930	資産除去債務	1,773
建物附属設備	1,293	負債合計	122,371
工具、器具及び備品	636	(純資産の部)	
無形固定資産	733	株主資本	82,602
ソフトウェア	733	資本金	30,000
投資その他の資産	27,559	利益剰余金	52,602
敷金	1,749	その他利益剰余金	52,602
繰延税金資産	25,584	繰越利益剰余金	52,602
その他	224	純資産合計	82,602
資産合計	204,974	負債純資産合計	204,974

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備	10年
工具、器具及び備品	4～8年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしております。なお、当事業年度においては、貸倒実績、個別の回収不能見込額が僅少なため、貸倒引当金を計上していません。

(3) 収益及び費用の計上基準

当社と顧客との契約から生じる収益に関する主要なサービスにおける主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

・ SaaS サービス

当社のライセンスサービスを提供しております。一定の期間にわたり充足される履行義務であり、顧客がサービス提供期間にわたって便益を享受するため、当該期間にわたって履行義務が充足されたと判断し、期間に応じて一定額の収益を認識しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

普通株式	52,200株
------	---------

3. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

4. 当期純損失金額

45,624 千円 (※)

※ rakumo(株)による全株式の取得に伴い、上場会社会計基準へ変更をした影響で、一時的に純損失が計上されております。